

令和8年10月13日

沖縄防衛局長

村井 勝 殿

与那国町長

上 地 常 夫



令和8年度 日米共同統合演習（キーン・ソード27）に関する要請書

平素より、与那国町の振興発展につきまして、格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、自衛隊の皆様におかれましては、我が国の独立、平和と安全を守っていただいていることはもとより、災害対処や緊急患者空輸など、町民の安心と安全の確保に多大なるご貢献をいただいておりますこと、深く感謝申し上げます。

さて、10月19日から本町において「令和8年度日米共同統合演習（キーン・ソード27）」が実施されることにつきまして、地对艦誘導弾、中距離地对空誘導などのほか、米軍のNMESSIS、MADIS、TPS-80などが運用されることに、町民から不安の声が寄せられております。

また、10月3日に那覇市において発生した強盗殺人事件では、在沖米軍に所属する海兵隊員が容疑者として逮捕されており、このような凶悪事件の発生は極めて遺憾であり強く抗議いたします。

本町での演習においても、第12海兵沿岸連隊、米陸軍からの参加が予定されておりますが、実施にあたり、町民の不安を払拭し、島民生活への影響を最小限に抑え、安全・安心な町民生活を確保するため、下記の事項について特段のご高配を賜りますよう要請いたします。

記

1 演習の実施にあたっては、町民の安全確保と生活への影響を十分注視するとともに、空港・港湾の使用については安全対策の徹底を図り、島民生活・経済活動への影響を最小限に抑えるよう十分配慮すること。

2 部隊の移動、各種訓練、装備品の取り扱い等における安全管理体制を徹底すること。特に車両等の移動については、集落内の移動や通勤・通学の時間帯を避けるなど影響が最小限となるよう最大限の措置を講じること。

3 訓練期間中においては、米軍の外出を原則禁止し、真にやむを得ない場合は、不測の事態、秩序の維持のため自衛隊員が同行するなどの対応を講じること。

4 米軍関係者による犯罪根絶に向け、米国政府及び米軍と連携し事件の全容解明に努めるとともに、日米両政府が連携し、実効性のある再発防止策を講じること。

以上